

### こども食堂交流会開催

～えんたくに加盟するこども食堂・地域食堂等のみなさんの交流会を開催しました～

1月25日(土)にこども食堂のみなさん同士の交流会を開催しました。最初に川崎医療福祉大学の直島克樹先生に「こども食堂の今とこれから ～賛同から参加へ～」というテーマで講演していただきました。

講演の中で、「こども食堂が広がっていく中、子どもたちのためにアクションを起こす大人が増えて、積極的にこの活動に関わってもらえるようになり、様々な人たちのつながりが「こども」をキーに動き始め、新たに変化が起こり始めている。」「子どもの居場所が地域にあるだけで価値がある」など、こども食堂の意義、重要性や役割りについての話が特に印象的でした。

また、鳥取県の東部・中部・西部の各圏域でのネットワーク活動紹介を、東部は「鳥取市地域食堂ネットワーク」事務局の小出真一さん、中部は「みんなの食堂ゆるりん」代表の村上克己さん、西部は「西部地区にこども食堂の輪を広げる会」代表の山中裕二さんにそれぞれ報告していただき、最後に、えんたく事務局からも活動紹介をさせていただきました。

後半では、グループセッションとして、運営者さん同士で「来てもらいたい人たちにその思いが届いていますか?」というテーマでグループ討議を行いました。熱い思いを持った運営者さんばかりですので、活発に意見交換されていて、時間が足りなかったようでした。

みなさんから、「参加して非常に良かった」「話し合いの中でのヒントが多くあった」「他団体の行事等がヒントになった」など、の声をいただきました。今後もこうした交流の機会を作っていきたいと考えています。



「インフォメーション」

鳥取県総合情報誌「とっとりNOW」(2020年春号)の特集でえんたくのことや県内のこども食堂(ネバーランド、カントリーキッチンこだま、まんぷく食堂えん、ほっとここ)の取り組みが紹介されました。運営者の優しい笑顔やこども食堂を利用している子供たち大人たちの満面の笑顔がいっぱい掲載されています。運営者の思いがしっかり伝わるとも良い内容となっています。ぜひ皆さんもご覧ください。お求めになりたい方は、鳥取県内の書店、セブンイレブンでお願いします。



「とっとりNOW」(2020年春号)3月発行



「えんたく」

### 会員情報

#### 賛助会員(新規加盟3団体)

①Tottori Mama's

②ちづDeer's

③梅乃井

正会員数:44団体

賛助会員数:22団体

2020年2月28日現在

## 寄付金・寄付食材情報

## ご寄付ありがとうございました！

鳥取県労働者福祉協議会様  
(フードドライブで集まった食材:76  
品目約20kg)



(株)マルイ様(毎月第1火曜日、第1水曜日)



(株)エスマート様(毎月第3木曜日)



(株)徳田商店様



(株)伊藤園様(総重量984kg)



webもり様(寄付金)



ちづDeer's様(寄付金)



梅乃井様(寄付金)



てんまり様(寄付金)



この他の3団体からもご寄付をいただきました。

COCOROSTORE様(寄付金)

有限会社石沼様(寄付金)

flocon de neige様(寄付金)



## えんたくアンケート結果

(2019年10月～12月実施 回収数26団体)

### 1 文化・芸術活動について

Q1 昨年度企画したイベント、「人形劇、アナログゲーム体験、木のおもちゃ体験、紙コップ1万個を使って街をつくろう！」について、どのように思いましたか？【全26団体】

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| ① 興味があった (5団体)               | ⑤ その他・企画がわからなかった (2団体) |
| ② 興味がなかった (3団体)              | ・知らなかった (2団体)          |
| ③ 興味はあったが申込みには至らなかった (7団体)   | ・加盟していなかった (3団体)       |
| ④ 申し込みを忘れていた(期限が過ぎていた) (0団体) | ・申し込んだ・参加した (3団体)      |
| ⑥ 未記入 (1団体)                  |                        |

Q2 Q1で②興味なかった ③申込みに至らなかったのは何故ですか？(複数可)【全10団体】

- ②特にイベント実施を考えていなかったから (8団体)
- ③イベントの数が少なすぎて、選べなかった (1団体)
- ④実施したくても場所がなかった (1団体)

Q3 今後どのようなジャンルのイベントがあれば申し込みたいですか？(複数可)【全26団体】

- ① 鑑賞会(音楽) (7団体)
- ② 鑑賞会(演劇・人形劇等) (11団体)
- ③ 体験型イベント (14団体)
- ④ 絵本読み聞かせ (3団体)
- ⑤ その他 (3団体)(ものづくり,料理づくり,ギター演奏,イベントコーディネート等)
- ⑥ 未記入 (4団体)

### 2 “えんたく”からの寄付金

Q4 寄付金の主な使い道(複数可)【全26団体】

- ① 食材購入 (19団体)
- ② ボランティアの謝礼 (5団体)(今後使いたい①を含む)
- ③ 保険の加入金 (2団体)
- ④ その他 (9団体)(学習支援用教材②、学習支援講師謝礼①、食器・調理器・備品購入②、子どもの活動費①、ボランティア親睦経費①・公共施設①、行事のプレゼント①)
- ⑤ 未記入 (1団体)

Q5 寄付金の配分 【全26団体】

- ① 少額でも現金で受け取りたい (10団体)
- ② ある程度の金額(1万円以上)での受け取り (5団体)
- ③ 別の形(イベント経費等)で使ってほしい (8団体)
- ④ 少額なら受け取らない (0団体)
- ⑤ その他 (3団体)  
(特段の意向なし②一定金額以上は直接受け取り、少額であれば別の方法でしてほしい①)

### 3 こども食堂(居場所)等の運営について

Q6 活動、運営を進めていく上で困っていることはありますか？(複数可)【全26団体】

- ① 食材確保 (8団体)
- ② 活動資金 (10団体)
- ③ スタッフ・ボランティアの確保 (14団体)  
(ボランティアの継続性を含む)
- ④ 広報・周知 (7団体)
- ⑤ その他 (1団体)(父の参加が少ない、広報周知の方法、学習支援ができない(ターゲットや実施手法がわからない)、貧困・困り感を抱えている方へのアプローチ)
- ⑥ 未記入 (1団体)

みなさまのご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

## 「賛助会員さんの取り組み紹介」:(第1回)鳥取県生活協同組合

子ども食堂のみなさまには、当組合の余剰食材及びフードドライブを有効活用いただきありがとうございます。食材の提供は、「もったいない(食品ロス削減)をありがとう(福祉の視点での社会貢献)」に変える大切な取り組みだと思います。運営される皆様には、ご苦勞もあるかと思いますが、地域の子どもの健康と安全、安心したくらしのために出来ることを一番に考え、共に取り組んでいければと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

### ～食材の取り扱いについて～

新型コロナウイルスの猛威が全国各地に広まっている状況ですが、子ども食堂運営者には特に注意していただいていることだと思います。ただ、年間を通してノロウイルス・インフルエンザウイルス・胃腸炎・その他感染症、食中毒など、食品を取り扱う上で常に注意が必要です。現在、定期的に食品の提供をいただく機会が増えて、子ども食堂の運営に役立てていただいているところですが、それぞれの子ども食堂の開催のタイミングに合わなく、中には賞味期限が短い食品も少なくありません。

食材の提供には企業等のみなさまの地域への貢献の思いが込められています。えんたくは、これを感謝の気持ちをもって受け取り、食事という形にして地域の子どもや大人にお届けしています。今後も、地域のためのこの活動が広がるよう努力していきたいと思っています。

- ◆ 賞味期限とは「美味しく食べられる期限です」賞味期限内に美味しく食べましょう。
- ◆ 提供された食品が開催までに賞味期限が切れる場合は、無理にメニューの材料として使用するのではなく、ボランティアで手頃にきてくださっている方へお配りするなど、有効に活用してください。
- ◆ 消費期限とは、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のことです。期限が切れているものは使用しないでください。